

令和7年度用高等学校教科書「政治・経済／政経705」訂正のお知らせ

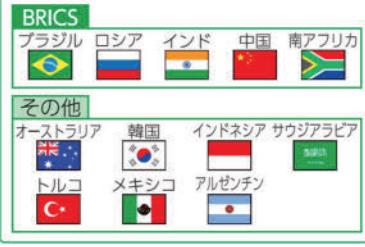
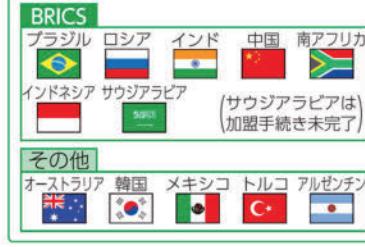
常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、現在ご指導いただいている教科書におきまして、下記の訂正を行いました。

誠に恐れ入りますが、この訂正に関しまして、必要に応じて、生徒の皆様にご周知いただきますようお願い申し上げます。

なお、訂正の内容は弊社ウェブサイト内 (<https://www.chart.co.jp/top/teisei/>) にも掲載いたします。また、この訂正内容は、令和8年度供給の教科書では修正済みでございます。

教科用図書検定規則に基づき訂正をお知らせするとともに、ご迷惑をおかけいたしますこと、書面をもちまして、深くお詫び申し上げます。

訂正箇所		原 文	訂正文
頁	行		
117	8	間接税には、生活必需品にも課税される消費税 ^② のように、低所得者ほど所得との比較で相対的に負担割合が高くなる逆進課税になる傾向がある。	間接税には、生活必需品にも課税される消費税 ^② のように、低所得者ほど所得との比較で負担割合が高くなる逆進課税になる傾向がある。
126	15	高度経済成長期は終わりを迎え、実質GDPの平均成長率が年率約4%の安定成長の時代に入った。	高度経済成長期は1970年代半ばには終わりを迎え、実質GDPの平均成長率が年率約4%の安定成長の時代に入った。
128	右図	株価ピーク 42,224円 (24年7月)	(削除)
201	右図	 <p>▲G20の構成国・地域</p>	 <p>▲G20の構成国・地域</p>

訂正箇所		原 文	訂正文
頁	行		
201	13-14	<p>近年では、BRICS (ブラジル・ロシア・<small>Brazil Russia</small> インド・中国・南アフリカ^④<small>India China South Africa</small>) と韓国や サウジアラビアなどの新興国を加えた G20^④ の影響力が高まっている。</p>	<p>近年では、BRICS (ブラジル・ロシア・<small>Brazil Russia</small> インド・中国・南アフリカ・<u>インドネシア</u>^④<small>India China South Africa</small>) と韓国や<u>メキシコ</u>などの新興国を加えた G20^④ の影響力が高まっている。</p>
後見返し		<p>南米南部共同市場 MERCOSUR (6か国 <u>準加盟国 6か国</u>)</p> <p>●ペルー ●チリ _____</p> <p>東南アジア諸国連合 ASEAN (10か国)</p> <p>ミャンマー ラオス カンボジア _____</p> <p>(2024年10月現在)</p>	<p>南米南部共同市場 MERCOSUR (6か国 <u>準加盟国 7か国</u>)</p> <p>●ペルー ●チリ ●パナマ _____</p> <p>東南アジア諸国連合 ASEAN (11か国)</p> <p>ミャンマー ラオス カンボジア <u>東ティモール</u> _____</p> <p>(2025年10月現在)</p>